



在宅医療従事者との距離感

先日埼玉県ふじみ野市で若い在宅医の尊い生命が奪われてしまいました。

被害にあった鈴木純一



松原 清二 医師
在宅療養支援診療所「まつばらホームクリニック」院長
総合内科専門医・循環器内科医
・日本循環器学会専門医
・日本内科学会認定医
・認知症専門医
・認知症サポート医

先生とは私も一度食事をの医療機関に断られ続けましたが大変明るく、結果、彼のところに紹介していきま

一緒にいる人間も明るく介されたと同っていまただ、今回のふじみ野市に増えていくと思

させてくれる人でした。す。こういった困難事例市のケースは死後1日増えていくと思

また、私が開業した当初の場合、患者家族の病気が経つてからの心肺蘇生をが、特に家で看る患者の

には練馬にいる患者さんの理解、現状の病気に対して出来ないために、主ご家族も、こういった医

を紹介してくれたり、病気の治療方針の確認、治医を銃殺したこと療従事者の考えを理解し

床がない当院のために、気持ちの共有を行っていで、人の感情に抑制が効ながら、患者のみならず

病床のある病院との連携きます。今回のケースの出来ない場合の怖さを改め医療従事者に関わって

を提案してくれたことも、ように終末期であれば、て感じさせられました。くなど、双方の距離感を

あり、大変面倒見の良い家族の介護負担能力が過病気や人の死というの認識することが大切な

医師でもありました。負荷になり、ときに理性は、必ずしも自分たちのではないかと思

今回の事件もいくつかより感情が先立ってしま思い描いたストーリーにた。

う場合も往々にあるの乗るものではないませ

で、再度病気の知識や気ん。また我々医療従事者

持ちを共有し、ご家族がは、科学である医学、ま患者に出来ることをお伝た医師法などの法律に基えしながら、自宅での介ついで治療を実践し、患者が持続可能なものにし者家族の気持ちや意向をていく、もしくはそれぞれ考えながら、総合的に判

[まつばらホームクリニック]
☎ 042-439-1250
 西東京市東町 4-14-18-2F
 (訪問中のため不在が多い)
 ■電話対応：午前 9:00～午後 6:00
 ■定休日：土日 (祝日は診療)
 ■訪問地域：西東京市、東久留米・新座・練馬の一部
 まつばらホームクリニック 検索